

事業内容、事業の効果に関する写真

(ア) 有機大麦・小麦の栽培、製品作成指導



【写真1】雨期の降雨量が少なく成育が心配されたが、順調に育った小麦。(2014年3月)



【写真2】裨益者ミーティングの様子。有機農場の運営方針や、作業分担について裨益者間で話し合った。(2014年3月)



【写真3】野菜の作付け準備の様子。灌漑用のパイプを傷つけないようにトラクターではなくロバを使用して耕耘する。(2014年4月)



【写真4】苗木の作付けの様子。(2014年4月)



【写真5】現地農業技師によるモニタリングの様子。定期的に農場を訪問し、問題点や改善点を裨益者と共有する。(2014年5月)



【写真6】有機肥料を使用した追肥の準備をする裨益者。(2014年5月)



【写真 7】収穫間近のレタスと大麦。(2014年5月)



【写真 8】ひよこ豆の収穫の様子。(2014年5月)



【写真 9】現地農業系 NGO でトレーニングを受けている新卒の農業技師の訪問を受け、有機農場で使用している肥料や害虫駆除剤等について説明をする裨益者。(2014年6月)



【写真 10】害虫対策のワークショップの様子。有機認証団体の講師(右)から、唐辛子やにんにくを使用した有機害虫駆除剤の作り方を学ぶ。(2014年6月)



【写真 11】大麦・小麦の収穫の様子。雨期の降雨量が少なかったが、大麦と小麦を合わせて3.8tの収穫があった。(2014年6月)



【写真 12】収穫した大麦・小麦の製粉加工の様子。(2014年6月)



【写真 13】収穫した作物は、ラマツラなどに出荷している他、地元のスーパでも販売している。(2014年6月)



【写真 14】収穫したての新鮮な野菜を、有機農場で直接購入することも可能。(2014年6月)

### (イ) 家庭有機農業（P C農法）の導入



【写真 15】裨益者にタイムの収穫手順を説明する現地農業技師(中央)。(2014年3月)



【写真 16】裨益者ミーティングの様子。買い取り先の団体から、収穫物の保管、集荷、価格設定等について説明があった。(2014年3月)



【写真 17】野菜の育成状況を確認し、適切な収穫時期について裨益者に指導する現地農業技師(中央)。(2014年4月)



【写真 18】収穫した野菜の出荷準備の様子。集荷の前日に収穫し、取引先から指定されたサイズに束ねて出荷する。(2014年4月)



【写真 19】収穫した有機野菜は、ラマツラのバザーで販売されている。(2013年5月)



【写真 20】家庭菜園の外観。(2014年6月)

(ウ) 女性を対象とした加工食品作成技術の指導



【写真 21】在イスラエル英国大使館主催のイベントの様子。イスラエルの協力団体と共同でブースを出展し、加工食品の販売を行った。(2014年3月)



【写真 22】クッキー作りのワークショップの様子。イスラエルのホテルから講師を招聘し、有機小麦粉を使用したオリジナルレシピのクッキーを作成した。(2014年4月)



【写真 23】協力団体からの注文を受け、ワークショップで習得したクッキー作りに取組む女性グループのメンバー。(2014年6月)



【写真 24】完成した商品は、主にラマツラで開催されているバザーで販売されている。(2014年6月)